

## ■効果の見える治水事業

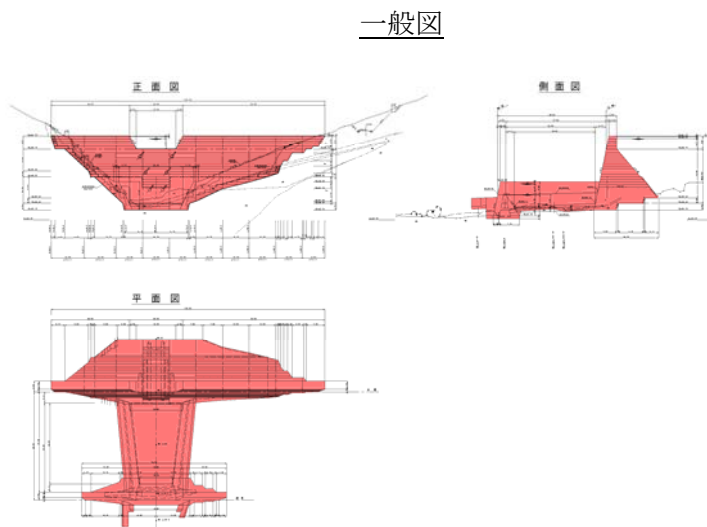
### 香川県 橘川（小豆郡土庄町）の砂防事業

#### 『橘川 通常砂防工事』

香川県小豆総合事務所次長 かたやま ひでき  
片山 秀樹



事業箇所 小豆郡土庄町  
事業期間 昭和57年度～平成22年度  
全体事業費 1,125百万円  
事業計画 砂防堰堤1基  
堤高 20.5m  
堤長 103.0m  
堤体積 17,641m<sup>3</sup>  
貯砂量 78,900m<sup>3</sup>  
流域面積 4.7km<sup>2</sup>

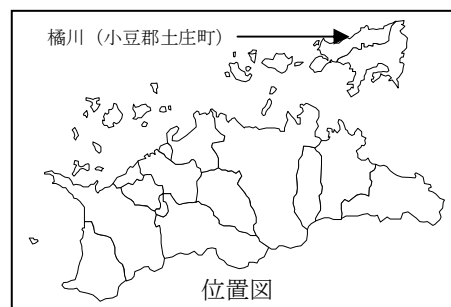


本溪流は、小豆島の中央部に位置し、その源は美しの原高原（776.6m）に発し、瀬戸内海に注ぐ

延長L=4.0km、流域面積A=4.7km<sup>2</sup>、平均溪床勾配1/6の急流河川であり、下流には約157戸の人家、公民館、道の駅及び橋梁、県道等も存在しています。付近一帯の地質は花崗岩類であり、流域は強風化花崗土で覆われ、大雨により多量の土砂が流出して、下流の人家、田、畑に被害を及ぼす恐れがあります。

このような状況に鑑み、土石流の発生を未然に防止し、また土石流の被害から下流住民の生命、財産を守るための砂防ダムを計画しました。

当事業は、昭和57年度に事業着手し、地元住民の皆様のご協力もあり、平成22年度には一連の砂防事業全てが完成しました。



着工前



竣工後

## 「安心安全のまちづくり」



土庄町長 岡田好平

瀬戸内海で二番目に大きな小豆島は、その東部に瀬戸内海最高峰の星ヶ城山（817m）を擁するなど標高は比較的高く、地形は、複雑です。

この星ヶ城山から西走する小豆島の脊梁山地が土庄町域に入って、四方指（しほうざし）仙多公峰（せんたくぼう）皇踏山（おうとざん）へと続き、土渕海峡を挟んで高見山（たかみやま）、大深山（おおみやま）さらに海上を隔てて小豊島（おでしま）、豊島壇山（てしまだんやま）へと東西に連なっています。

これらの山々は、さらに数多くの支峰を発しつつ急傾斜をなして海岸に迫っており、河川流域に小規模に点在する平坦地とともに、平面的にも立面的にもきわめて複雑な地形をなしています。

また、約90kmに及ぶリアス式の長大な海岸線は、多くの島嶼部とあいまって、土庄港はじめ天然の良港を数多く形成するとともに、国立公園と呼ぶにふさわしい内海美を演出しています。

一方、近年の地球温暖化による異常気象の影響からか、ゲリラ豪雨のような想定を超える降雨が何時何処で発生するか予想できないため、一旦発生すると地形が急峻なことから、たちまち土石流となって下流の民家及び農地などに甚大な被害を及ぼす恐れがあります。

橘川は、小豆島の北側中央部に位置し、土石流の発生を未然に防止するため、昭和57年度に砂防事業に着手し、途中用地交渉が難航し中断しましたが、関係者の努力により、平成22年度に完成を見ました。

町としましては、より安全で安心な町づくりを目指し、治水事業の推進、又全世帯に個別受信機を置く防災無線を整備し、安全の確保を図るほか、常に防災情報の分析を行い、地域防災計画の改訂充実に取り組んでいこうと考えています。



特徴的な地形の様子



行政防災無線の整備と運用